

ディーゴ ガイド



2021.5.3-5.9

But **grow** in the grace and knowledge of our Lord and Savior Jesus Christ. To him be glory both now and forever! Amen. II Peter 3:18

L T G ガイド

- ①お互いへの感謝と誉めることを分かち合しましょう。(2~3つ)
- ②1週間の罪を言い表して悔い改め、互いに祈りましょう。
- ③礼拝メッセージの分かち合いをします。
礼拝メッセージの分かち合いが難しい場合はディボーションの分かち合い(なるべく短く)
- ④預言の祈り(主の御心を宣言して祈り)をします。

L T G Guide

セル ガイド

- ①祈り、賛美によって主がここにいてくださることを信じ、聖霊様をさがめます。
- ②互いの存在を感謝し、尊敬するところを分かち合しましょう。
- ③ディボーションの分かち合いをします。
- ④セルの目的と働きについてみなで共有して、祈り、遣わされて行きましょう。

家族礼拝ガイド

年長のクリスチャンがリードしてください。進め方にはいろいろな意見が出るかもしれませんが、「主に期待する」信仰が最も大切です。いつもの家族のでもいいのです。

- ①この1週間で神様はすばらしいと感じたのはどんなこと?
- ②この1週間でお互いにどんなことを感謝しますか?(または誉めたいですか?) 1つだけ。
- ③聖書のみことばから、どんな実践をして、またどんな恵みがありましたか?
- ④互いの必要のために祈りましょう。

Cell Group Guide

礼拝メッセージフィードバック

<今日の聖書箇所は…>

①神のみこころは?(信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちなど)

②どんな思いになりましたか?(感情や願いなど)

③生き方にどう適用しますか?(あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか?)

④この世にあって何を実践しますか?

Family Worship

12:29 真夜中になって、主はエジプトの地のすべての初子を、王座に着くパロの初子から、地下牢にいる捕虜の初子に至るまで、また、すべての家畜の初子をも打たれた。

12:30 それで、その夜、パロやその家臣および全エジプトが起き上がった。そして、エジプトには激しい泣き叫びが起こった。それは死人のない家がなかったからである。

12:31 パロはその夜、モーセとアロンを呼び寄せて言った。「おまえたちもイスラエル人も立ち上がって、私の民の中から出て行け。おまえたちが言うとおりに、行って、主に仕えよ。」

12:32 おまえたちの言うとおりに、羊の群れも牛の群れも連れて出て行け。そして私のためにも祝福を祈れ。」

12:33 エジプトは、民をせきたてて、強制的にその国から追い出した。人々が、「われわれもみな死んでしまう。」と言ったからである。

12:34 それで民は練り粉をまだパン種を入れないままに取り、こね鉢を着物に包み、肩にかついだ。

12:35 イスラエル人はモーセのことばどおりに行かない、エジプトから銀の飾り、金の飾り、それに着物を求めた。

12:36 主はエジプトがこの民に好意を持つようにされたので、エジプトは彼らの願いを聞き入れた。こうして、彼らはエジプトからはぎ取った。

初子が殺されるというのは、パロをはじめエジプト全土に計り知れない打撃を与えることです。そしてそれ以上にここでの意味は、神のひとり子である

イエス様の死の雛形であることです。この死を免れるために、イスラエルは羊を殺してその血をぬって印としたのですが、それはイエス様の雛形です。そのイエス様は神の初子と表現されてもよい、すなわちひとり子なのです。

エジプトがイスラエルを虐待した罪、何度も偽りを言ってイスラエルを去らせずに、さらに苦しめ搾取しようとしたパロの罪が、すべてこれら初子の上に報いとして降りかかったのです。これもまたイエス様の十字架を思わせるものです。

もちろんこれらの初子は、愛を持って身代わりになったわけではありません。ただ罪の報いがそこに集中したという意味においてであり、そして信仰によってイスラエルにおいては、羊がその身代わりとなったのです。

イスラエルの人々がエジプトから金や銀を求めたのは、彼らのあつかましさではなく、むしろ逆で「好意を」持たれていたからです。神の民は、虐待されるような境遇でも、神様のみこころを行うことができ、最後はすぐ出されますし、さらには善きものを受けることができるのです。そのように信じて行動しましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



4日 火曜

出エジプト



12:37 イスラエル人はラメセスから、スコテに向かって旅立った。幼子を除いて、徒歩の壮年の男子は約六十万人。

12:38 さらに、多くの入り混じって来た外国人と、羊や牛などの非常に多くの家畜も、彼らとともに上った。

12:39 彼らはエジプトから携えて来た練り粉を焼いて、パン種の入れてないパン菓子を作った。それには、パン種がはいっていなかった。というのは、彼らは、エジプトを追い出され、ぐずぐずしてはおられず、また食料の準備もできなかったからである。

12:40 イスラエル人がエジプトに滞在していた期間は四百三十年であった。

12:41 四百三十年が終わったとき、ちょうどその日に、主の全集団はエジプトの国を出た。

12:42 この夜、主は彼らをエジプトの国から連れ出すために、寝ずの番をされた。この夜こそ、イスラエル人はすべて、代々にわたり、主のために寝ずの番をするのである。

12:43 主はモーセとアロンに仰せられた。「過越のいけにえに関するおきては次のとおりである。外国人はだれもこれを食べてはならない。

12:44 しかし、だれでも金で買われた奴隷は、あなたが割礼を施せば、これを食べることができる。

12:45 居留者と雇い人は、これを食べてはならない。

12:46 これは一つの家の中で食べなければならない。あなたはその肉を家の外に持ち出してはならない。またその骨を折ってはならない。

12:47 イスラエルの全会衆はこれを行なわなければならない。

12:48 もし、あなたのところに異国人が在留していて、主に過越のいけにえをささげようとするなら、彼の家の男子はみな割礼を受けなければならない。そうしてから、その者は、近づいてささげることができる。彼はこの国に生まれた者と同じになる。しかし無割礼の者は、だれもそれを食べてはならない。

12:49 このおしえは、この国に生まれた者にも、あなたがたの中にいる在留異国人にも同じである。」

12:50 イスラエル人はみな、そのように行なった。主がモーセとアロンに命じられたとおりに行なった。

12:51 ちょうどその日に、主はイスラエル人を、集団ごとに、エジプトの国から連れ出された。

壮年男子だけで60万人とは非常に多くの民だったことが分かります。その後の荒野での出来事の現実を理解することができましょう。それほどの人々を荒野で養われた主の恵みと力を覚えましょう。しかも「ぐずぐずしてはおられず」というほどの緊急の中で救いは行われました。

私たち自身の救いも、その時しかないというような緊急な神の時であり、また主の恵みと力のわざであったことを、もう一度思い起こして感謝しましょう。そしていよいよ神様に信頼しましょう。

過ぎ越しのいけにえは単に行事ではなく、信仰の表れです。ですから「居留者」「雇い人」であるからといって食べるものではありません。割礼を受けて、神の民となってからのものです。すなわち新約で言うなら、十字架を受け入れて新生した者が、聖餐にあずかり、また教会の一員になるというようなことです。

何よりも信仰の表明を大切にし、おそこをないがしろにしないようにしましょう。常に自分自身はその信仰を持っているのだと自覚しましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



➤ 5日 水曜

出エジプト

13:1 主はモーセに告げて仰せられた。

13:2 「イスラエル人の間で、最初に生まれる初子はすべて、人であれ家畜であれ、わたしのために聖別せよ。それはわたしのものである。」

13:3 モーセは民に言った。「奴隷の家であるエジプトから出て来たこの日を覚えていなさい。主が力強い御手で、あなたがたをそこから連れ出されたからである。種を入れたパンを食べてはならない。

13:4 アビブの月のこの日にあなたがたは出発する。

13:5 主があなたに与えるとあなたの先祖たちに誓われたカナン人、ヘテ人、エモリ人、ヒビ人、エブス人の地、乳と蜜の流れる地に、あなたを連れて行かれるとき、次の儀式をこの月に守りなさい。

13:6 七日間、あなたは種を入れないパンを食べなければならない。七日目は主への祭りである。

13:7 種を入れないパンを七日間、食べなければならない。あなたのところに種を入れたパンがあってはならない。あなたの領土のどこにおいても、あなたのところにパン種があってはならない。

13:8 その日、あなたは息子に説明して、『これは、私がエジプトから出て来たとき、主が私にしてくださったことのためなのだ。』と言いなさい。

13:9 これをあなたの手の上のしるしとし、またあなたの額の上の記念としなさい。それは主のおしえがあなたの口にあるためであり、主が力強い御手で、あなたをエジプトから連



れ出されたからである。

13:10 あなたはこのおきてを年々その定められた時に守りなさい。

初子の聖別によって、イスラエルは初子が特別であることに強い意識を持ったでしょう。それはまさにイエス様が神の初子ということのできる”ひとり子”である事実と深くつながります。この特別な方が私たちの身代わりとなってくださったのです。

「種を入れたパン」は不純物によって全体が変わってしまうことを表しますが、そのようなことのないようにとの視覚教材です。このように主への純粋な信仰を持ちましょう。自己中心や自己保身や打算を交えずに、主のみこころを求めましょう。また福音に人間的な妥協の混ぜ物をしないように気をつけましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は抜おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



6日 木曜

出エジプト



13:11 主が、あなたとあなたの先祖たちに誓われたとおりに、あなたをカナン人の地に導き、そこをあなたに賜わるとき、

13:12 すべて最初に生まれる者を、主のものとしてささげなさい。あなたの家畜から生まれる初子もみな、雄は主のものである。

13:13 ただし、ろばの初子はみな、羊で贖わなければならない。もし贖わないなら、その首を折らなければならない。あなたの子もたちのうち、男の初子はみな、贖わなければならない。

13:14 後になってあなたの子があなたに尋ねて、『これは、どういうことですか。』と言うときは、彼に言いなさい。『主は力強い御手によって、私たちを奴隷の家、エジプトから連れ出された。』

13:15 パロが私たちを、なかなか行かせなかったとき、主はエジプトの地の初子を、人の初子をはじめ家畜の初子に至るまで、みな殺された。それで、私は初めに生まれる雄をみな、いけにえとして、主にささげ、私の子どもたちの初子をみな、私は贖うのだ。』

13:16 これを手の上のしるしとし、また、あなたの額の上の記章としなさい。それは主が力強い御手によって、私たちをエジプトから連れ出されたからである。」

13:17 さて、パロがこの民を行かせたとき、神は、彼らを近道であるペリシテ人の国の道には導かれなかった。神はこう言われた。「民が戦いを見て、心が変わり、エジプトに引き返すといけなない。」

13:18 それで神はこの民を葦の海に沿う荒野の道に回らせた。イスラエル人は編隊を組み、

エジプトの国から離れた。

13:19 モーセはヨセフの遺骸を携えて来た。それはヨセフが、「神は必ずあなたがたを顧みてくださる。そのとき、あなたがたは私の遺骸をここから携え上らなければならない。」と言って、イスラエルの子らに堅く誓わせたからである。

13:20 こうして彼らはスコテから出て行き、荒野の端にあるエタムに宿営した。

13:21 主は、昼は、途上の彼らを導くため、雲の柱の中に、夜は、彼らを照らすため、火の柱の中にいて、彼らの前を進まれた。彼らが昼も夜も進んで行くためであった。

13:22 昼はこの雲の柱、夜はこの火の柱が民の前から離れなかった。

神様がエジプトの初子を打たれたことは、主の救いのハイライトです。それを後々の世代に伝える必要があります。そのことを単にことばだけでなく、「どういうことですか。」と問うほどに興味を持たせるのは神様の知恵です。視覚教材は重要です。

現代も与えられている技術が機器でそれを工夫することは大切です。しかし単に先端技術を使うことが目的ではなく、そこに表されている信仰の意味が大切であり、また聖霊が働いてくださることが重要です。

主は火の柱、雲の柱で臨在を表して、民を共におられることを明らかにされました。主が共におられることが勝利なのです。私たちが常に主がおられることを意識しましょう。主に話し、主に聞き、主に従いましょう。また主が共にいたくださるように、主を主としてあがめましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



7日 金曜

出エジプト



14:1 主はモーセに告げて仰せられた。
14:2 「イスラエル人に、引き返すように言え。そしてミグドルと海の間にあるピ・ハヒロテに面したパアル・ツェフォンの手前で宿営せよ。あなたがたは、それに向かって海辺に宿営しなければならぬ。
14:3 パロはイスラエル人について、『彼らはあの地で迷っている。荒野は彼らを閉じ込めてしまった。』と言うであろう。
14:4 わたしはパロの心をかたくなにし、彼が彼らのあとを追えば、パロとその全軍勢を通してわたしは栄光を現わし、エジプトはわたしが主であることを知ることになる。」そこでイスラエル人はそのとおりにした。
14:5 民の逃げたことがエジプトの王に告げられると、パロとその家臣たちは民についての考えを変えて言った。「われわれはいったい何ということをしたのだ。イスラエルを去らせてしまい、われわれにさえさせないとは。」
14:6 そこでパロは戦車を整え、自分でその軍勢を率い、
14:7 えり抜き、戦車六百とエジプトの全戦車を、それぞれ補佐官をつけて率いた。
14:8 主がエジプトの王パロの心をかたくなにされたので、パロはイスラエル人を追跡した。しかしイスラエル人は臆することなく出て行った。
14:9 それでエジプトは彼らを追跡した。パロの戦車の馬も、騎兵も、軍勢も、ことごとく、パアル・ツェフォンの手前、ピ・ハヒロテで、海辺に宿営している彼らに追いついた。
14:10 パロは近づいていた。それで、イスラ

エル人が目を上げて見ると、なんと、エジプト人が彼らのあとに迫っているではないか。イスラエル人は非常に恐れて、主に向かって叫んだ。

14:11 そしてモーセに言った。「エジプトには墓がないので、あなたは私たちを連れて来て、この荒野で、死なせるのですか。私たちをエジプトから連れ出したりして、いったい何ということをおぼれにしてくれたのです。」

14:12 私たちがエジプトであなたに言ったことは、こうではありませんでしたか。『私たちのことはかまわないで、私たちをエジプトにさえさせてください。』事実、エジプトに仕えるほうがこの荒野で死ぬよりも私たちに良かったのです。」

14:13 それでモーセは民に言った。「恐れはいけな。しっかりと立て、きょう、あなたがたのために行なわれる主の救いを見なさい。あなたがたは、きょう見るエジプト人をもはや永久に見ることはできない。

14:14 主があなたがたのために戦われる。あなたがたは黙っていなければならない。」

主はイスラエルを約束の地に導き入れることを決めておられましたが、そのプロセスをも考えておられました。イスラエルははじめ南の方に向かいましたが、そこは紅海がさらに広くなり、仮に海が割れたとしても渡れることはできなかったでしょう。また北は容易に進むことができたが、それではパロの軍隊に簡単に追跡されますし、場合によっては簡単にエジプトに引き返すことにもなりかねません。

主は紅海を渡るという道を考えておられ、そのためにこの理解しがたい場所に宿営するように命じられたのです。主の導きに信頼しましょう。理今は理解できないことでも、想像をはるかに超え

る主のわざに期待しましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



8日 土曜

出エジプト



14:15 主はモーセに仰せられた。「なぜあなたはわたしに向かって叫ぶのか。イスラエル人に前進するように言え。」

14:16 あなたは、あなたの杖を上げ、あなたの手を海の上に差し伸ばし、海を分けて、イスラエル人が海の真中のかわいた地を進み行くようにせよ。

14:17 見よ。わたしはエジプト人の心をかたくなにする。彼らがそのあとからはいつて来ると、わたしはパロとその全軍勢、戦車と騎兵を通して、わたしの栄光を現わそう。

14:18 パロとその戦車とその騎兵を通して、わたしが栄光を現わすとき、エジプトはわたしが主であることを知るのだ。」

14:19 ついでイスラエルの陣営の前を進んでいた神の使いは、移って、彼らのあとを進んだ。それで、雲の柱は彼らの前から移って、彼らのうしろに立ち、

14:20 エジプトの陣営とイスラエルの陣営との間にはいった。それは真暗な雲であったので、夜を迷い込ませ、一晩中、一方が他方に近づくことはなかった。

14:21 そのとき、モーセが手を海の上に差し伸ばすと、主は一晩中強い東風で海を退かせ、海を陸地とされた。それで水は分かれた。

14:22 そこで、イスラエル人は海の真中のかわいた地を、進んで行った。水は彼らのために右と左で壁となった。

14:23 エジプト人は追いかけて来て、パロの馬も戦車も騎兵も、みな彼らのあとから海の中にはいつて行った。

14:24 朝の見張りのころ、主は火と雲の柱のうちからエジプトの陣営を見おろし、エジプ

トの陣営をかき乱された。

14:25 その戦車の車輪をはずして、進むのを困難にされた。それでエジプト人は言った。「イスラエル人の前から逃げよう。主が彼らのために、エジプトと戦っておられるのだから。」

14:26 このとき主はモーセに仰せられた。

「あなたの手を海の上に差し伸べ、水がエジプト人と、その戦車、その騎兵の上に返るようにせよ。」

14:27 モーセが手を海の上に差し伸べたとき、夜明け前に、海がもとの状態に戻った。エジプト人は水が迫って来るので逃げたが、主はエジプト人を海の真中に投げ込まれた。

14:28 水はもとに戻り、あとを追って海にはいったパロの全軍勢の戦車と騎兵をおおった。残された者はひとりもいなかった。

14:29 イスラエル人は海の真中のかわいた地を歩き、水は彼らのために、右と左で壁となったのである。

14:30 こうして、主はその日イスラエルをエジプトの手から救われた。イスラエルは海辺に死んでいるエジプト人を見た。

14:31 イスラエルは主がエジプトに行なわれたこの大いなる御力を見たので、民は主を恐れ、主とそのしもべモーセを信じた。

紅海が別れてイスラエルは対岸に渡ることができ、後から追ったパロの軍勢は海に飲み込まれました。そのようなみわざは「わたし（神）が主であることを知る」ためです。

私たちも主のみわざを期待して祈りますが、それによって自分の都合のよい結果を求めるのではなく、主であることを知るために求めましょう。みわざは主の栄光を表すためにあるのです。私たちの生きる目的も主の栄光を表すためだから、騒

然のことです。主の栄光とはまた私たち主の民を愛し守ることでもあるのですから、安心して主の栄光を求めましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



15:1 そこで、モーセとイスラエル人は、主に向かって、この歌を歌った。彼らは言った。「主に向かって私は歌おう。主は輝かしくも勝利を収められ、馬と乗り手とを海の中に投げ込まれたゆえに。

15:2 主は、私の力であり、ほめ歌である。主は、私の救いとなられた。この方こそ、わが神。私はこの方をほめたたえる。私の父の神。この方を私はあがめる。

15:3 主はいくさびと。その御名は主。

15:4 主はパロの戦車も軍勢も海の中に投げ込まれた。えり抜きすの補佐官たちも葦の海におぼれて死んだ。

15:5 大いなる水は彼らを包んでしまい、彼らは石のように深みに下った。

15:6 主よ。あなたの右の手は力に輝く。主よ。あなたの右の手は敵を打ち砕く。

15:7 あなたは大いなる威力によって、あなたに立ち向かう者どもを打ち破られる。あなたが燃える怒りを発せられると、それは彼らを刈り株のように焼き尽くす。

15:8 あなたの鼻の息で、水は積み上げられ、流れはせきのように、まっすぐ立ち、大いなる水は海の真中で固まった。

15:9 敵は言った。『私は追って、追いついて、略奪した物を分けよう。おのれの望みを彼らによってかなえよう。剣を抜いて、この手で彼らを滅ぼそう。』

15:10 あなたが風を吹かせられると、海は彼らを包んでしまった。彼らは大いなる水の中に鉛のように沈んだ。

15:11 主よ。神々のうち、だれかあなたのよな方がいるでしょうか。だれがあなたのよ

うに、聖であって力強く、たたえられつつ恐れられ、奇しいわざを行なうことができますようか。

15:12 あなたが右の手を伸ばされると、地は彼らをのみこんだ。

モーセとイスラエル人は主を賛美して歌いました。主への賛美は、そのみわざをさらに明らかにするもので、私たちの心に主のすばらしさを刻むものです。またそれは心の養いや平安や癒しにもなります。この世で最も美しく、すばらしいものをたたえるのだからです。どんな経験よりも、景色よりも美しいものです。

その内容はただだ主のみわざを歌っています。主のみわざがそれだけ美しい芸術なのです。私たちも主のすばらしさを表しましょう。もっと多く頻繁に主のみわざを誉めたたえることができるのではないのでしょうか。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

